

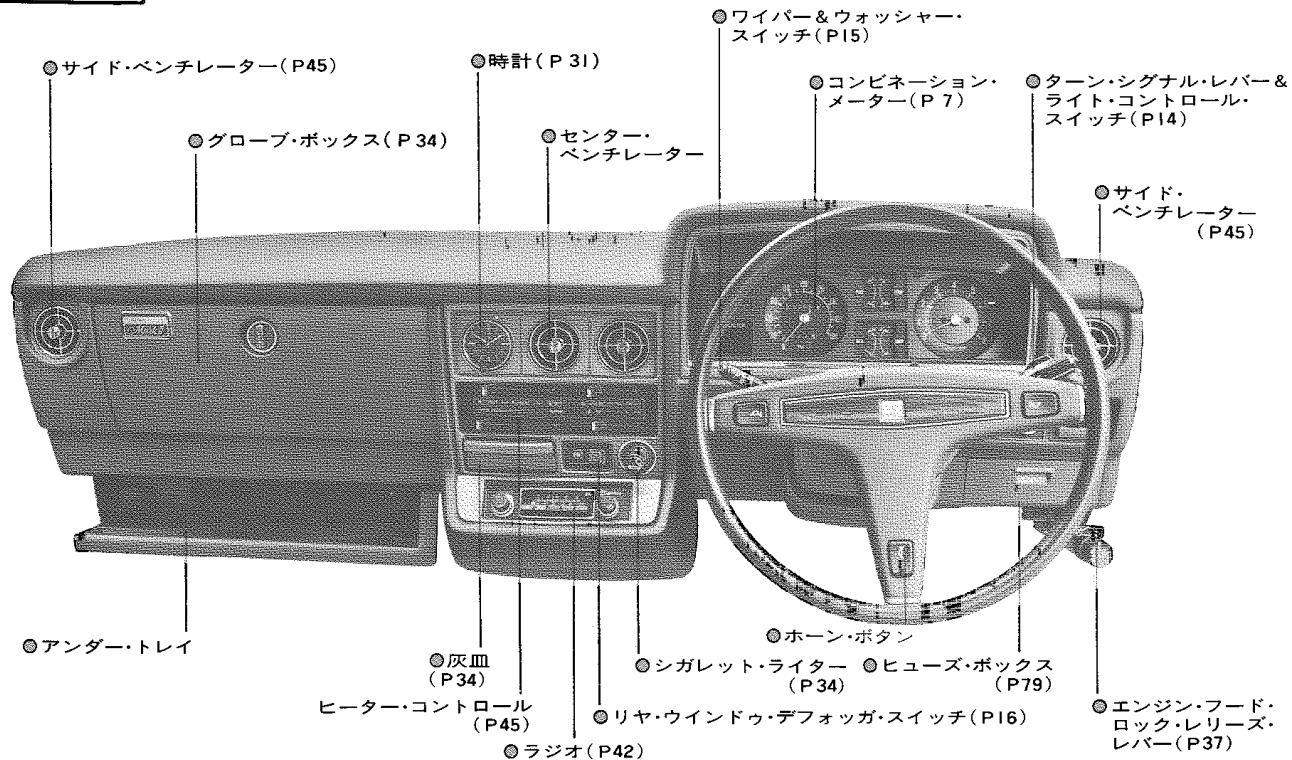


メーターの見方, 使い方

インストルメント・パネルの名称	6
メーター, ランプの見方	7
①スピードメーター(速度計)	8
②オドメーター(総積算距離計)	8
③トリップ・メーター(積算距離計)	8
④タコメーター(エンジン回転計)	8
⑤フューエル・ゲージ(燃料計)	8
⑥フューエル・ウォーニング・ランプ(燃料残量警告灯)	8
⑦ヒート・ゲージ(水温計)	8
⑧アンメーター(電流計)	9
⑨チャージ・ウォーニング・ランプ(充電警告灯)	9
⑩オイル・プレッシャー・ゲージ(油圧計)	9
⑪オイル・プレッシャー・ウォーニング・ランプ(油圧警告灯)	10
⑫排気温警告灯	10
⑬OKモニター	11
⑭ブレーキ・ウォーニング・ランプ	12
⑮シート・ベルト警告灯	12
⑯ハイ・ビーム・インジケーター・ランプ	12
⑰ターン・シグナル・インジケーター・ランプ(方向指示灯)	12
⑱時計	12

インストルメント・パネルの名称

セダンLG車

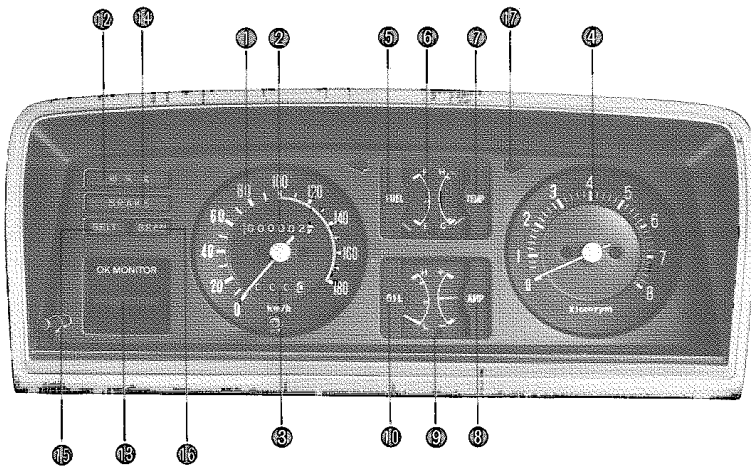


() 内は説明ページを示します。

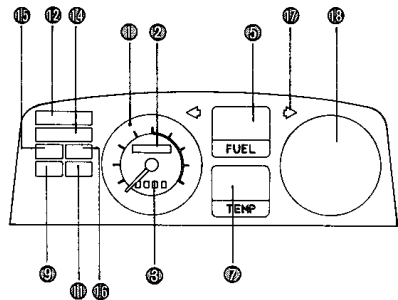
無断複製禁止

メーター、 ランプの 見方

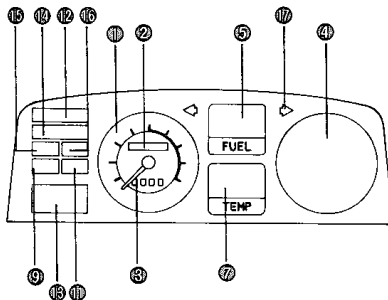
GSL, LG, LG Touring, GRANDE車



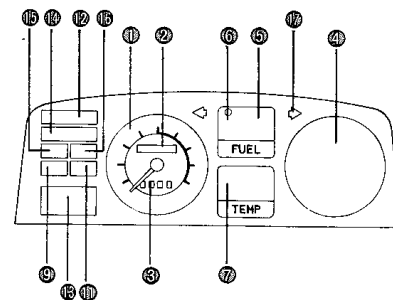
STD, DX車 (STDは時計オプション)



GL車



L車



⑩スピードメーター（速度計）

約100km/h 以上になるとチャイムが鳴り警告します。チャイムが鳴っているとき指針が振れることがありますが異常ではありません。

⑪オドメーター（総積算距離計）

走行した総距離をkmの単位で表わします。

白字に黒文字は，100mの単位です。

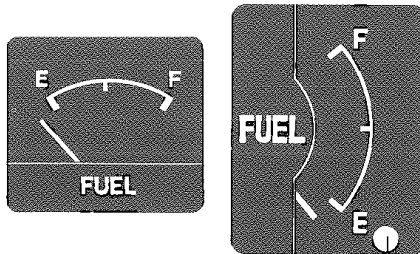
⑫トリップ・メーター（積算距離計）

ノブを押せば0にもどり，以後の走行距離を示します。

⑬タコメーター（エンジン回転計）*

毎分のエンジン回転数を示します。指針が赤色範囲（エンジンの許容回転数を越えている）にはいらないように運転してください。

⑭フューエル・ゲージ（燃料計）



フューエル・ウォーニング・ランプ

Eに近づいたら早目に燃料を補給してください。

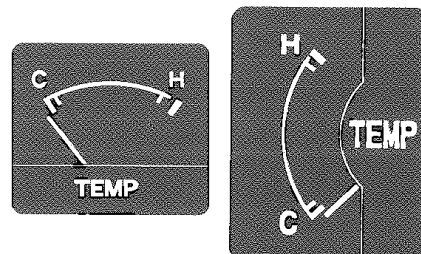
車種	燃料タンク容量(ℓ)
セダン	65
ハードトップ	
ワゴン	61
バン	

⑮フューエル・ウォーニング・ランプ

（燃料残量警告灯）*

燃料の残量が10ℓ以下になると，点灯して警告します。

⑯ヒート・ゲージ（水温計）



冷却水温を示します。

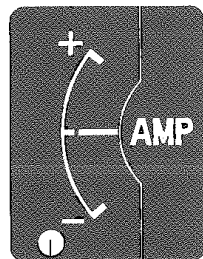
走行中の温度は目盛りのHのレッド・ゾーンより内側をさしているのが正常です。



指針が，Hのレッド・ゾーンにはいったときは，オーバー・ヒートのおそれがありますので，ただちに車を安全な場所に止め，処置をしてください。

77ページの「オーバー・ヒートの処置」の項目を参照してください。

⑧アンメーター（電流計）＊



指針の位置

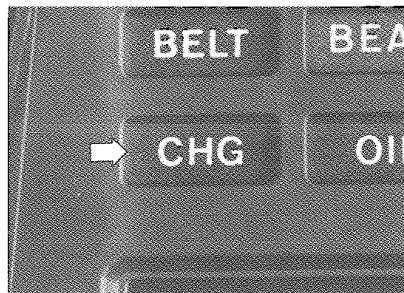
- ＋側……充電状態
- －側……放電状態

チャージ・ウォーニング・ランプ

エンジン始動後も⊖側を示しているとき、ランプやモーターなどの電気の使いすぎか、充電系統の異常が考えられます。

⑨チャージ・ウォーニング・ランプ

(充電警告灯)

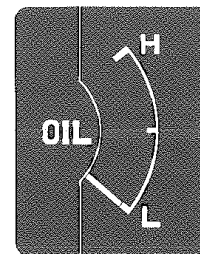


エンジン回転中、充電系統が異常のときに点灯し警告します。

1. エンジン停止中に、エンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。
2. チャージ・ウォーニング・ランプが点灯するときは「排気温警告灯」も同時に点灯します。

⑩オイル・プレッシャー・ゲージ＊

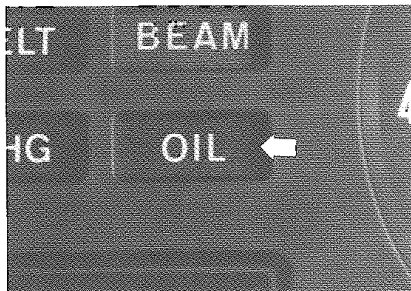
(油圧計)



エンジン回転中の潤滑油の圧力を示します。

1. エンジン回転を上げても指針が動かない場合は、潤滑系統に異常があります。エンジンを止めてオイル量を点検してください。
2. オイル量が正規であれば、他に異常がありますので点検を受けてください。

⑩ オイル・プレッシャー・ウォーニング・ランプ (油圧警告灯) *



エンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

1. エンジン回転中に点灯したまのときは、エンジンを止めてオイル量を点検してください。
2. オイル量が正規であれば、他に異常があります。

点灯したまま走行するとエンジンの焼き付きを起こすおそれがありますので点検を受けてください。

⑪ 排気温警告灯

セダン/ハードトップ/ワゴン車のみ



触媒装置の温度が高くなりすぎると、点灯して警告します。

1. エンジン・スイッチをONにすると「排気温」のランプが点灯し始動すると消灯するのが正常です。
2. ONにしても点灯しない場合は点検を受けてください。
3. チャージ・ウォーニング・ランプが点灯すると、同時に「排気温警告灯」も点灯します。この場合、触媒の温度上昇を知らせているものではありません。



「排気温警告灯」が点灯した場合、必ず次の処置をしてください。

1. 走行中の場合

- ◎ 警告灯が点灯したときの、半分程度に速度を落としてください。普通は数分内に消灯します。
- ◎ 速度を落としても消灯しない場合は枯れ草などの燃えやすいものがない場所に停車してください。

それでも消灯しない場合はエンジンを止めて冷却してください。冷却したあとで再びエンジンを始動して消灯していることを確認してください。

2. 停車中の場合

エンジンを止めて冷却するまで放置してください。冷却した後は再びエンジンを始動して消灯していることを確認してください。

消灯しない場合または再び点灯する場合は、そのまま使用せず点検を受けてください。

●OKモニター*



走行中、異常が発生した場合に異常個所を知らせます。



OKモニターは仕業点検のためのものではありません。

仕業点検はエンジン・フードをあけて行ってください。

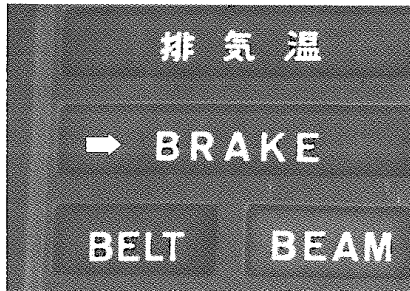
使用方法

- 1 プライマリー・ウォーニング・ランプのチェックを行ないます。
エンジン・スイッチをONにすると、OKモニターのプライマリー・ウォーニング・ランプが赤く点灯し、電球切れのチェックができます。
- 2 エンジン・スイッチONの状態では、チェック・スイッチを押すと、OKモニターの表示部に検出文字が順次表示されます。
すべての検出項目が表示されれば、ランプ類は正常です。
- 3 エンジンを始動するとプライマリー・ウォーニング・ランプは消灯し、OKモニターは作動状態となり、異常項目がある場合はプライマリー・ウォーニング・ランプが点灯し、異常項目の文字が表示されます。また、同じグループに2個以上の異常が発生した場合は優先順位が高いものが表示されます。
OKモニターは次の個所のチェックができます。(検出項目はグレードによって異なります)

A グループ			B グループ		
順位	検出項目	不具合状況	順位	検出項目	不具合状況
1	BRAKE LIGHTS	1.ペダルを踏まないときに点灯する場合……全灯が切れたとき 2.ペダルを踏んだときに点灯する場合……1灯以上が切れたとき 3.ストップ・ヒューズが切れたとき	1	LINING WEAR (LG Touring) (GRANDEのみ)	前輪の内側の2枚のうちいずれかのディスク・ブレーキ・パッドの厚さが、使用限度以下になったとき
2	REAR LIGHTS	1.テール・ランプ、ナンバー・プレート・ランプ点灯時1灯以上切れたとき 2.テール・ヒューズが切れたとき	2	RADIATOR (LG車以上)	ラジエーター・リザーブ・タンク内の冷却水が0.4ℓ以下になったとき
3	BATTERY	バッテリー電解液がバッテリーのLOWER LEVEL以下に減少したとき	3	W-WASHER (LG車以上)	ウインドウ・ウォッシャー液が0.4ℓ以下になったとき

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

⑪ ブレーキ・ウォーニング・ランプ

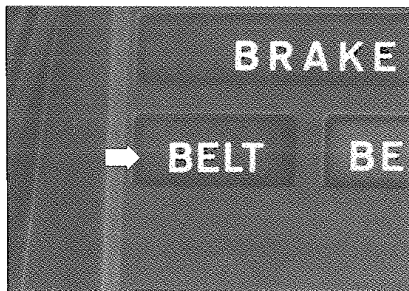


エンジン・スイッチがONのとき、パーキング・ブレーキ・レバーを引くと点灯し、もどすと消えます。

レバーをもどしても消灯しないとき、また走行中点灯したときは、以下の不具合が考えられます。

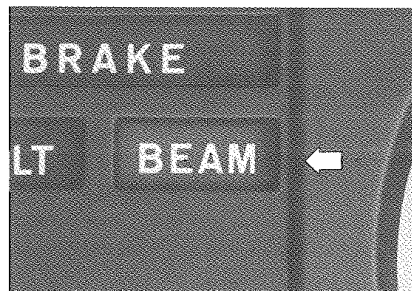
1. ブレーキ・フルードの漏れ、不足
2. 油圧システムの故障（グランデ車）
3. ESCの故障（ESC付き車）

⑬ シート・ベルト警告灯



パーキング・ブレーキ・レバーを引いた状態でエンジン・スイッチをONにすると点灯し、シート・ベルトを装着すると消灯します。

⑭ ハイ・ビーム・インジケーター・ランプ



ヘッドランプがハイ・ビーム（上向き）のとき点灯します。

⑯ ターン・シグナル・インジケーター・ランプ

（方向指示灯）

ターン・シグナル・レバーの操作により、ランプが点滅して右折、左折を示します。

点滅が異常に早くなるときは、電球切れが考えられます。

⑰ 時計 *

使用方法は31ページの「室内装備の使い方」の項目を参照してください。